（参考）新オフセット衝突試験の子供ダミーの試験結果見方

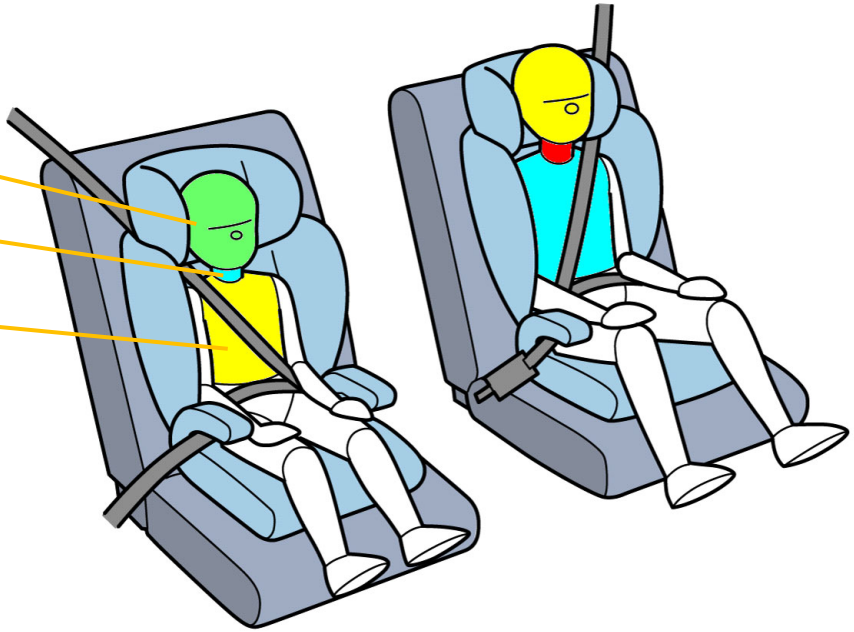
「新オフセット前面衝突試験」では運転席及び助手席の大人ダミーのほかに、６歳児を模したダミーを運転席の後座席、１０歳児を模したダミーを助手席の後座席に搭載して試験を行いその情報を提供しております。
本ページでは子供ダミー情報の見方を説明いたします。



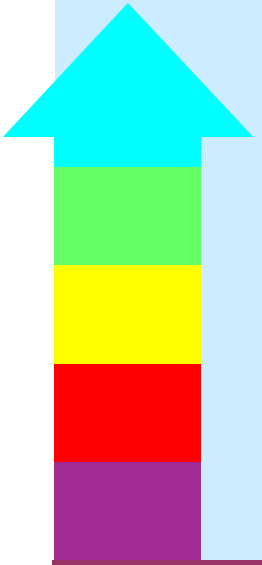
子供ダミー安全性能イラストの見方

・頭部
・首部
・胸部

三部位の安全性能を部位ごとに5段階で色分けしています。



安全性能　高
（傷害値　低）



安全性能　低
（傷害値　高）

5段階の色は上の色ほど安全性能が高いことを示しています。

試験結果の特記事項の見方

試験映像を確認した結果、次ページ以降で説明する３つの事象が発生が明確に確認された場合はその内容を「試験結果の特記事項」欄に記載しています。

また、明確に発生確認できた事象がない場合は「映像から、特に確認できた項目なし」と記載します。

試験結果の特記事項

試験映像を確認した結果、今回の衝突試験では〇歳児ダミーにおいて「シートベルトの肩外れ」が発生しました。シートベルトの肩外れが発生した状況では上半身が十分に拘束されず、頭部を車両内装にぶつける等の可能性が高まります。



試験結果の特記事項の見方

特記事項に記載される項目について

１．シートベルトの肩外れ（肩ベルト外れ）

適切な位置	OK	シートベルトの肩外れが発生した状態	NG
			
	シートベルトの肩部分は、しっかり肩にかかり、首に掛かったり、上腕部分に下がったりしていません。		衝突時にシートベルトの肩の部分が上腕までずれ下がった状態になります。 この状況では上半身が十分に拘束されず、頭部を車両内装にぶつける等の可能性が高まります。

試験結果の特記事項の見方

特記事項に記載される項目について

２．シートベルトへの腹部潜り込み（腰ベルトへの潜りこみ）

適切な位置	OK	シートベルトへの腹部潜り込みが発生している状態	NG
			
	シートベルトの腰部分はしっかりと骨盤に掛かり、腹部にシートベルトがかかっていません。		衝突時にシートベルトの腰の部分に子供の腹部が潜り込んだ状態になります。 この状況ではシートベルトの腰の部分が腹部を圧迫し腸などを損傷する可能性が高まります。

試験結果の特記事項の見方

特記事項に記載される項目について

３．シートベルトの腰部の拘束外れ（腰ベルト外れ）

適切な位置	OK	シートベルトの腰部拘束外れが発生している状態	NG
			
シートベルトの腰部分はしっかりと骨盤に掛かり、腰がシートから浮き上がらない状態です。		衝突の反動時にシートベルトの腰の部分がずれ下がった状況になります。 この状況では子供がシートから投げ出される可能性が高まります。	

ジュニアシートを適切にご使用頂くためのご注意点など

- 試験の結果によらず、安全のために、ジュニアシートを適切にご使用いただくことが重要です。

- ジュニアシートを選ぶ際には、お子様の身長にあった、シートを選んでください。
  また、ジュニアシートを適切に使用していない場合、ジュニアシートの効果が十分に得られない可能性があります。
  詳しくは、取扱説明書をご確認ください。

- 新オフセット前面衝突試験では、自動車製作者が推奨したジュニアシートを適切に設置して試験をしております。
  自動車製作者の推奨ジュニアシートにご関心がある場合は、自動車製作者にお問い合わせください。

- ジュニアシートの選び方や適切な使用方法については、以下のリンクも参考にしてください。
  （NASVA外のサイトへリンクします）

国土交通省自動車総合安全情報
https://www.mlit.go.jp/jidosha/anzen/02safetydevice/childseat.html

JAF（一般社団法人　日本自動車連盟）　チャイルドシート完全ガイド
https://jaf.or.jp/common/safety-drive/protect-life/child-seat

